

APRESIA Systems メディアコンバーター

ApresiaLightMC シリーズ

Ver. 1.00.07

リリースノート

**APRESIA Systems 株式会社**

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2023 年 12 月 28 日	新規制定

## はじめに

ApresiaLightMC シリーズ 1.00.07 のファームウェアについて説明するものです。本ファームウェアに関しての重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。

### リリースバージョン

今回リリースバージョン	1.00.07
前回リリースバージョン	1.00.06

### 適応機種一覧

シリーズ名称	製品名称
ApresiaLightMC シリーズ	ApresiaLightMC-SX
	ApresiaLightMC-LX
	ApresiaLightMC-BX20D
	ApresiaLightMC-BX20U
	ApresiaLightMC-BX40D
	ApresiaLightMC-BX40U
	ApresiaLightMC-FX
ApresiaLightMC-PoE シリーズ	ApresiaLightMC-SX-PoE
	ApresiaLightMC-LX-PoE
	ApresiaLightMC-BX20U-PoE
	ApresiaLightMC-BX40U-PoE
	ApresiaLightMC-FX-PoE

### ファームウェアバージョンアップ時の注意事項

**!** バージョンアップ時における注意事項を記載しています。ご使用前に必ずご一読下さい。

#### 【1.00.04 以前から 1.00.05 以降へのファームウェアバージョン変更時】

- ・ Ver. 1.00.05 のファームウェアではバージョンアップ後にコンフィグ設定の追加/変更が必要な機能を追加しております。Ver.1.00.03 / Ver. 1.00.04 からバージョンアップする場合は Ver. 1.00.05 のリリースノートをご確認いただき、十分理解されたのち、バージョンアップを実行ください。バージョンアップ後は必ずコンフィグ設定の初期化 コンフィグ設定の保存が必要になりますのでご注意ください。
- ・ 遠隔でバージョンアップ作業を実施された場合、APLMC-10005-RC004 の仕様変更により、装置にアクセスできなくなる恐れがありますので、事前に通信環境をご確認ください。  
MNG ポート経由の IP アドレスはバージョンアップ後も引き継がれますが、USER ポートまたは LH ポート経由の IP アドレスについては引き継がれずに無効となります。

**!** 本装置は同一のファームウェアバージョン同士を接続してご使用ください。

### 対応バージョン一覧表

各製品の対応バージョンを以下に示します。対象となる製品には、対応バージョン以外のファームウェアをダウンロードしないでください。

製品名称	対応バージョン
ApresiaLightMC-SX	ApresiaLightMC Ver. 1.00.03 以降
ApresiaLightMC-LX	
ApresiaLightMC-BX20D	
ApresiaLightMC-BX20U	
ApresiaLightMC-BX40D	
ApresiaLightMC-BX40U	
ApresiaLightMC-FX	
ApresiaLightMC-SX-PoE	
ApresiaLightMC-LX-PoE	
ApresiaLightMC-BX20U-PoE	
ApresiaLightMC-BX40U-PoE	
ApresiaLightMC-FX-PoE	

### 輸出する際のご注意

本製品は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

### 商標一覧

Apresia/APRESIA は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

Ethernet 及びイーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

# APLMC Ver.1.00.07 リリース情報(2023年12月)

## 機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

### 仕様変更

APLMC-10007-RC001

内容 対向装置との EFM-OAM 接続において、EFM-OAM フレームの受信タイムアウトの仕様を変更しました。

関連 -

APLMC-10007-RC002

内容 特定のユーザーアカウント名を設定不可としました。システムとして予約されているため、一部の機能(SSH 機能)が利用不可となっていました。

関連 -

### 修正

APLMC-10007-RC003

内容 端末側 IP アドレス中に「255」が含まれる場合において、SSH セッション切断してから 2~3 分後に本装置が再起動する問題を修正しました。  
(発生バージョン：1.00.04 / 1.00.05 / 1.00.06)

関連 -

APLMC-10007-RC004

内容 EFM-OAM フレームの受信タイムアウトを、稀に 1 秒で判定する問題を修正しました。(表示上の問題)

関連 -

ApresiaLightMC シリーズ  
Ver.1.00.07 リリースノート  
Copyright(c) 2023 APRESIA Systems, Ltd.  
2023 年 12 月 初版

APRESIA Systems 株式会社  
東京都中央区築地二丁目 3 番 4 号  
(築地第一長岡ビル 8 階)

<https://www.apresiasystems.co.jp/>